蝶と蛾 *Tyô to Ga* **43** (4): 245-248, March 1993

沖縄島産オオゴマダラの異常型

津吹　　卓
〒170　東京都豊島区北大塚 1-10-33　十文字高校

An aberrant form of *Idea leuconoe clara* (Butler) (Lepidoptera: Danaidae) from Okinawa Island, Japan

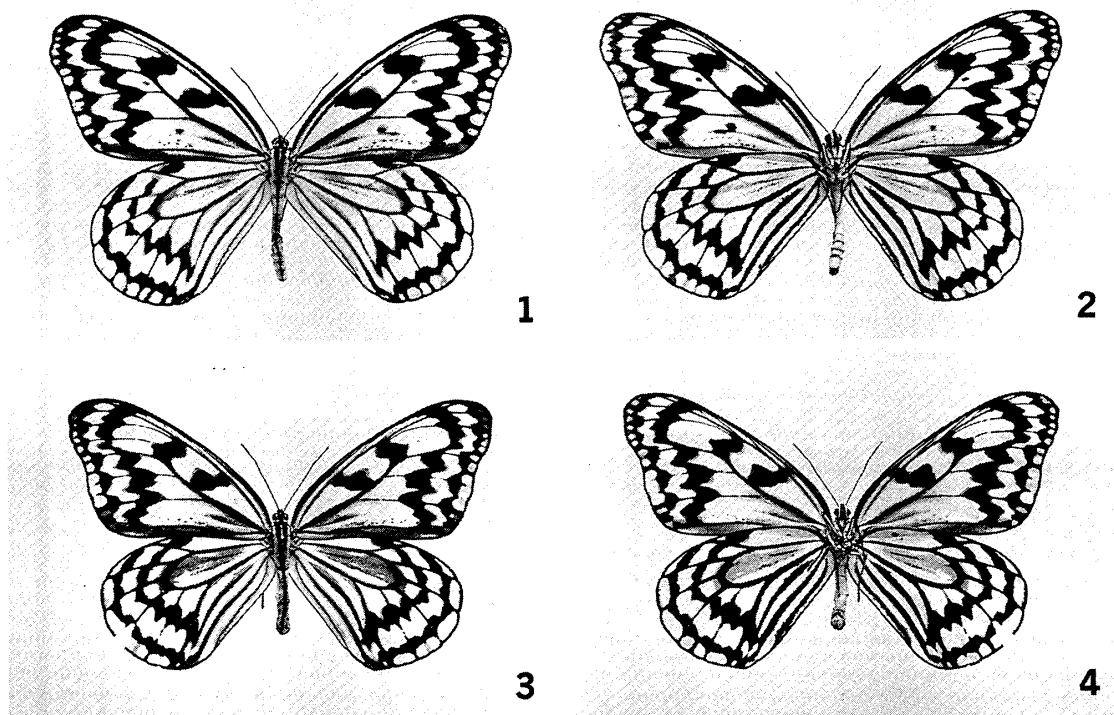
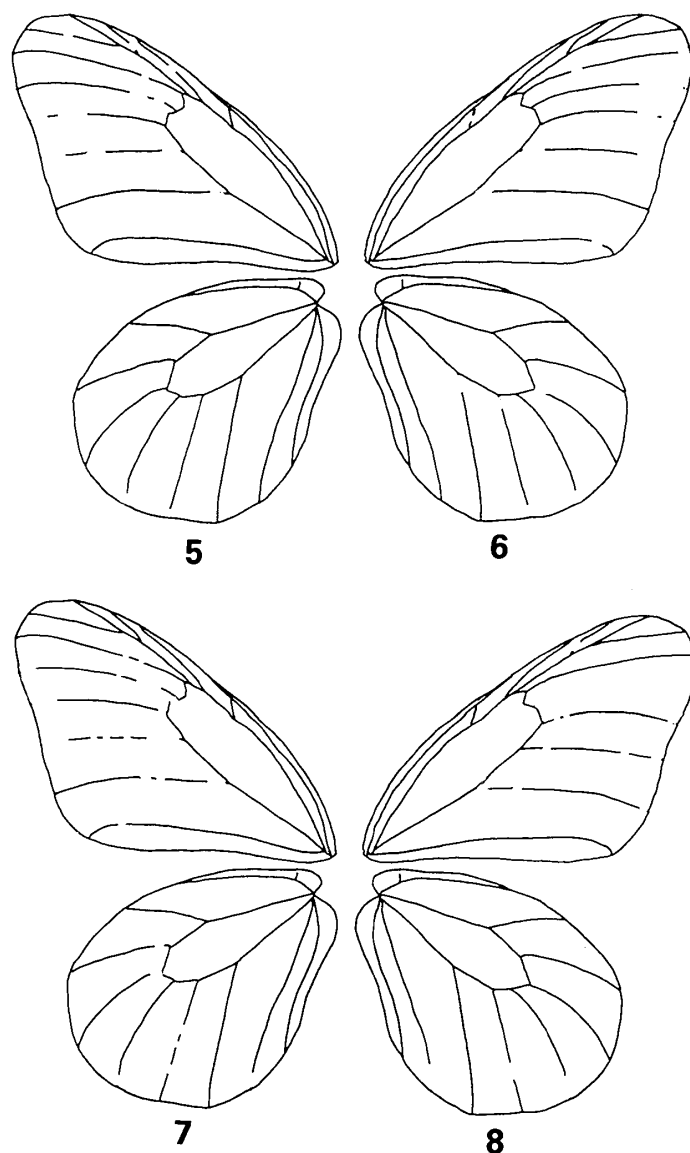
Takashi TSUBUKI: Jûmonji Senior High School, Kitaôtsuka 1-10-33, Toshima-ku, Tokyo, 170 Japan

Abstract Characters of wing pattern, veins and flight motion in aberrant form were described in *Idea leuconoe clara* (Butler) from Okinawa Island.

Key words Aberrant form, *Idea leuconoe*, Danaidae, Okinawa Island.

オオゴマダラ, *Idea leuconoe clara* (Butler), の異常型はこれまでに沖縄島産雌の黒化型が知られている（藤岡, 1975). また, 鱗翅目の翅の異常型の総論は, 柴谷（1981, 1984）により報告されている.

筆者は沖縄島産のオオゴマダラの蛹5頭を1991年8月13日に入手し飼育したところ, すべて2週間以内に羽化した. これらの中から, 前述のタイプとは異なる異常型が, 雌雄各1頭ずつ得られたので報告する. これらの異常型はホウライカガミの1本の蔓に隣接して付着していた3頭の蛹から羽化したうちの2頭である. これらの蛹はデパートで夏休みに展示をするために横浜で飼育されたものである.

この報告をするに当たり, 材料の入手にお世話いただいた神奈川県立市ケ尾高校教諭美ノ谷憲久氏,

Figs. 1-4. Aberrant wing pattern of *Idea leuconoe*. 1. ♂, upperside; 2. ♂, under side; 3. ♀, upperside; 4. ♀, underside.

Figs. 5-8. Aberrant venation of *Idea leuconoe*. 5. ♂, left wing; 6. ♂, right wing; 7. ♀, left wing; 8. ♀, right wing.

採集および飼育の状況について教えて下さった横浜市の後藤雅彦氏，沖縄県の子供の国高田爬虫類研究所の大谷勉氏，文献でお世話になりご意見をいただいた南山大学教養部江田信豊博士に感謝する．

異常型の特徴

これらの個体には，斑紋・翅脈・飛翔に異常が認められたので，それぞれの特徴を記載する．

A.　斑紋異常（Figs. 1-4）

雌雄両個体ともに黒化が強いが，とくに雌個体において著しい．

1.　前後翅の亜外域 submarginal area, postdistal area の黒斑は合体し太い帯状になる．とくに後翅の postdistal area では，正常個体の黒斑と比べ著しく異なる．

2.　翅頂の白斑は，前翅の亜外域の黒斑が帯状に太くなるために，消失する．

3.　前後翅の外域 marginal area の白斑が，各室ごとにつながり大きな斑紋をつくる傾向が見られ，雄個体より雌個体の方が，また前翅より後翅の方が顕著である．

4.　前翅 Cu_1a 室・Cu_1b 室内の distal area の黒斑は消失する傾向にある．

5. 後翅中室の黒条・黒斑は消失または不明瞭になる.

B. 翅脈異常（Figs. 5-8）

多くの翅脈の1部分もしくは全部分が消失する.その部位は個体により,また左右の翅により異なる.前翅より後翅の方が多い. 消失部位は次の通り.

雄個体（Figs. 5-6）

左前翅：R_2（中央），R_3（基部），R_5（外方），M_1（中央），M_2（内方2ヵ所），M_3（中央・先端），Cu_1a（基部・中央・先端），Cu_1b（基部）

左後翅：M_3（先端），Cu_1a（先端）

右前翅：R_1（中央），M_1（中央・先端），M_2（先端），M_3（外方・先端），Cu_1a（基部・先端），Cu_1b（基部），1A（外方）

右後翅：M_2（基部），M_3（先端），Cu_1a（基部・先端），Cu_1b（基部）

雌個体（Figs. 7-8）

左前翅：M_1（中央2個所），M_2（中央2個所・先端），M_3（基部・先端），Cu_1a（基部・中央4個所・先端），Cu_1b（基部・中央2個所），1A（中央）

左後翅：M_1（基部），M_2（基部），M_3（先端），Cu_1a（中央3個所），Cu_2（基部）

右前翅：R_3（中央），M_2（全体），M_3（内方2個所・先端），Cu_1a（内方・外方・先端），Cu_1b（基部・内方・先端）

右後翅：M_3（先端），Cu_1a（中央），Cu_2（先端）

C. 飛翔の異常

羽化し翅が固まった後に飛翔を開始したが,上記のように翅脈が部分的に欠落しているために羽ばたいたときに翅の外方まで支えきれず,フニャフニャした感じで正常に飛ぶことはできなかった.しかし,1週間ほど後には比較的正常に近い飛び方をしていた.

材料および飼育状況

後藤氏，大谷氏の話を総合すると，これらの蛹は沖縄島の読谷村（よみたんそん）で6月中旬頃採集された蝶を横浜のホウライカガミを置いた温室内で自由に交配・産卵させ飼育したものであり，累代飼育は行われていない．また産卵から蛹化前後までの室温は約40℃で，その後約26℃に移され，筆者が入手した8月13日以降は室温（30℃前後）で飼育された．蛹の期間における温度変化が異常型を引き起こした可能性もあるが，5頭とも同じ飼育条件と考えられ，むしろ遺伝的な要因によるものかもしれない．

文　献

藤岡知夫，1975．日本産蝶類大図鑑．講談社．
柴谷篤弘，1981．鱗翅目の翅の斑紋・構造異常研究指針，やどりが（103/104）：1-13.
———，1984．ちょうの異常型はどうしてできるか，月刊むし（159）：8-16.

Summary

On 13th August, 1991, the author got 5 pupae of *Idea leuconoe* (Butler) from Okinawa Island bred in Yokohama city in Kanagawa Prefecture. All of them emerged within 2 weeks. Three pupae attached to the same vine of *Parsonsia*. Two of them were almost the same aberrant form. One was a male and the other a female. They have following characters.

1. Wing pattern (Figs. 1-4): Black spots at postdistal and submarginal parts got larger and they made black stripes, respectively.

2. Veins (Figs. 5-8): Many veins display a lack of basal, central and/or distal parts. In extreme cases, it is observed that a vein became a dotted line or absent wholly.

3. Flying motion: In about a week after emergence these butterflies could not fly normally, since they could not support the outer part of the wings because of the partly formed veins.

(Accepted November 11, 1992)

Published by the Lepidopterological Society of Japan,
c/o Ogata Hospital, 2-17, Imabashi 3-chome, Chuo-ku, Osaka, 541 Japan